

17級

第1回

三文節文

「すいせんのラップ」

月 日

全部できましたか?

★

次の漢字と読みを書きなさい。

★★

速 (10画)

速

速

速度

リレーでは一組が

はやく

かった。

息 (10画)

息

息

休息

ゆつくりと

いき

をすった。

根 (10画)

根

根

大根

ユリの

ね

は食べられる。

横 (15画)

横

横

横断

カニは

よこ

に歩く。

次の文を三つに分けて書き、主語を答えなさい。

★★★

例 青い花がさいた。

青い

花が

さいた

主語 (花が)

一 あたたかい風がふく。

主語 ()

二 黒い牛が歩く。

主語 ()

三 まるい月が出た。

主語 ()

◇ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。 ★★★★★

春のまん中のお話です。

池のそばのすいせんが、金色のラツパをプル・プル・プーとふいて、よい音が出るかどうかためしていました。

そこへ、ありたちが、とつとと走ってきました。

「おはよう。すいせん。」

「おはよう。あり。ずいぶん早いね。」

「だって、まちきれないもの。」

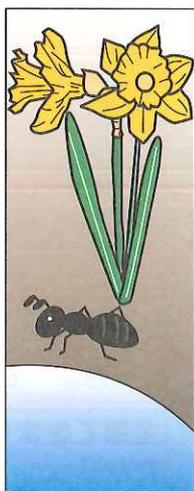
「ね、早く、ラツパをふいて。」

「そっちに上がっていい？」

ありたちは、わいわいはしゃいで、すいせんのはっぱに上ってきました。

そうです。今日は、すいせんが、今年（ことし）はじめてラツパをふく日なのです。

なぜラツパをふくかというね、冬の間ねむっていたかえるたちに、春ですよおきなさいと知らせるためです。



一 「だって、まちきれないもの。」と言ったのはだれですか。

_____です。

二 今日は、すいせんにとって、どんな日ですか。一文でそのまま書きなさい。

三 _____の中のふさわしい言葉を書きなさい。

すいせんが、_____のラツパをふいて、よい

_____が出るかどうかためしていると、_____

_____がとつとと走ってきました。

今日は、_____ねむっていたかえるたち

に、_____おきなさいと知らせるため

に、すいせんが、_____をふく日なのです。

17級

第2回

三文節文

「すいせんのラッパ」

◇ 次の漢字と読みを書きなさい。



月 日

全部できましたか？

★

度 (9画)

ド ()

度

温 ()

度 ()

()

今の気温は二十
だ。

感 (13画)

カン ()

感

()

感 ()

想 ()

文 ()

本を読んで
動した。

豆 (7画)

ズ トウ ()

まめ ()

豆

大 ()

豆 ()

()

せつぶん
をまいた。

祭 (11画)

サイ まつ まつ ()

まっ りる ()

祭

()

祭 ()

日 ()

夏
りでゆかたを着た。

まつ

主語 ()

()

◇ 次の文を三つに分けて書き、主語を答えなさい。



一 黄色いすいせんがさく。

主語 ()

()

()

二 つめたい雨がふる。

主語 ()

()

()

三 かわいい赤ちゃんがわらった。

主語 ()

()

()

四 大きなくじらがおよぐ。

主語 ()

()

()

◇ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。 ★★★★★

すいせんは、お日さまの高さをはかったり、風の速さをしらべたり、ラップをプーとふいたりして、ときどき、もうすぐだというように、うんうん、うなずきます。

ありたちは、はっぱの上で、ゆらゆらゆれて、じっとまっています。

あたたかい風が、ささあつとふきわたり、日の光が、一面にちりました。

(うん。今だ！)

すいせんは、大きく息をすって、金色のラップをふきならします。

プップ・パツパ・パツパラピー・プウー

すきとおった音が、池を

わたり、地面をゆさぶり、

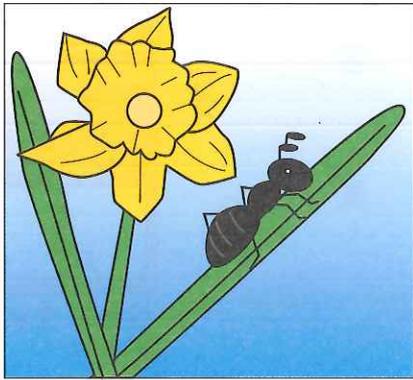
おかを上って、むこうの空

にきえます。ありたちは、

目をまんまるにして、うん

とせのびをして、まわりを

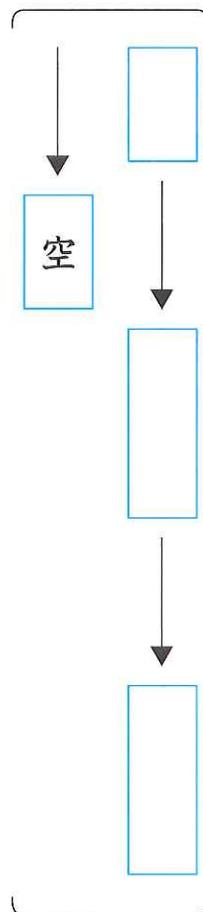
見ました。



一 ありたちは、どこで、じっとまきましたか。

すいせんの

二 ラップの音は、どこを通過つてむこうの空にきえましたか。通った「場所」を順番に書きなさい。



三 [] の中にふさわしい言葉を書きなさい。

お日さまの

をはかったり、風の

[] をしらべたりしていたすいせんが、(うん。今

だ!) と大きく

[] をすって、金色の

[] をふきならしたのは、

[] がふきわたり、

[] が、

[] にちったときです。

三文節文

「すいせんのラップ」

月 日

全部できましたか？

★

次の漢字と読みを書きなさい。

安 (6画) アン やすい

安

安心

あの店は魚が やすい。

次の漢字を書きなさい。

- 一 走る
二
三
四
五
六

じました。

二
は
のなかまです。

三
断歩道をわたるのが
全です。

四
りの夜は人がいっぱいです。

最もふさわしい語を一つずつ選びなさい。

例
木の葉が ひらひら
まう。

一
雨が ふる。

二
ヒマワリが 大きくなった。

三
犬が においをかぐ。

四
クラス全員が さわいだ。

五
目が とかがやく。

六
手に 油がついた。

- わいわい
しとしと
くんくん
らんらん
ひらひら
べっとり
ぐんぐん

◇ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。 ★★★★★

……すると、池のそばのつつじの根元がむくつ。
(あ、あそこだ、あそこだ。)

ありたちは、ひじをつついて、ささやきます。

むくつ。むくむくむくつ。グローブみたいなかえるがとびおきました。

目をぱちぱちさせてから、すいせんを見つけると、
「やあ、今年もありがとう。」

と、大きな声で言いました。それから、

「バオーン。」
と、あくびをして、

「はらへった。はらへった。はらへった。どっすん・ぽこ。どっすん・ぽこ。どっすん・ぽこ。」

と、林の方へとんでいきました。

「はあ！ かえるのおすもうさんだ。」

「かえるの横綱だ！ どっすん、どっすん。」

ありたちは、はっぱの上で、とび上がって手をたたきました。



一 ありたちは、ひじをつついて、何とささやきましたか。

二 「やあ、今年もありがとう。」は、だれがだれに言ったのですか。

三 の中にふさわしい言葉を書きなさい。

ありたちが、「のおすもうさん」と

よんだ みたいなかえるは、の

そばの の根元で、むくむくつと、とび

おき、目を させたり、「バオー

ン。」と をしてから「

へった。」と、林の方へとんでいきました。

三文節文

「すいせんのラツパ」

月 日

全部でできましたか？

★

◇ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

★★★★★

すいせんは、にっこりして、またラツパをふきます。
 ピラリ・ピッピー・ランパツパ・ピー
 うきうきする音がながれ、あたりはまぶしく光ります。

(あ、今度は、あそこ！)

かきねのすみっこのおちばが、ぱっぱつとびちっています。

パツパツポーン。おちばの中から、みどり色のリボンのようなかえるがとびおきて、

「はあい、目ごましラツパ、サンキュー、サンキュー。」と、気どった声で言いました。

それから、くるんとちゅうがえりして、

「さ、あそぼう。うんとあそぼう。だれとあそぼう。ひらり・ぴよん。ひらり・ぴよん。ひらり・ぴよん。」と、林の方へとんでいきました。

「へえ！ おどりおどっているみたい。」

「かえるのダンサーだ！ ぴよん、ぴよん。」
 ありたちは、感心して手をたたきました。

すいせんは、いよいよ元気にラツパをふきます。

ピピピプー・ピポピポ・ピツピー

今度は、どんなかえるが目をさますかな。

(あれ…かな？)

すいせんのそばの土が、ちよろつとうごいて、豆つぶみたいなかえるが、ぴいんととびおきました。

「やあもう春だ。ん？ ぼくこんなに上手に目がさめるなんて…なぜだ？ なぜだ？」

目をこすりながら、きよろきよろしています。

「ラツパですよう。すいせんのラツパで目がさめたんだよう。」

ありたちが、口をそろえて教えました。

「ラツパ？ あ、その金色のラツパ。そうだったの…。ありがとう！」



一 みどり色のリボンのようなかえるは、すいせんのラッパのことを、何と言いましたか。

ラッパ

二 ありたちは、みどり色のリボンのようなかえるを、何とよびましたか。

かえるの

三 豆つぶみたいなかえるは、どういうわけで、「なぜだ？ なぜだ？」と言いましたか。

冬がすぎ、

が来たことを知らなかつ

たのに、こんなに上手に
がさめたか
らです。

四 ありたちが、豆つぶみたいなかえるに口をそろえて教えてあげた言葉を、そのまま全文書きなさい。

五 の中にふさわしい言葉を書きなさい。

すいせんが、をふくと

する音がながれ、はまぶしく光

り、かえるが目をさしました。

くるんとして、「やい、

あそぼう。」と林の方へとんでいったのは、気どった

を出す 色の

のようなかえるです。

すいせんのそばのから、ぴいんととびお

き、「やあもうだ。ん？」とをこ

すりながらしている

のは、みたいなかえるです。

三文節文

「すいせんのラッパ」

月 日

全部できましたか？

★ ★ ★

◇ 次の漢字と読みを書きなさい。

★★

列

レツ	—
----	---

(6画)

列

行

列

列

列

みんなが一
にならぶ。

調

チヨウ	—
-----	---

(15画)

調

調

調

調

わたり鳥のことを本で

べた。

者

シヤ	もの
----	----

(8画)

者

者

者

者

ライオンは草原の王

だ。

次

—	ツギ
---	----

(6画)

次

次

次

次

にぼくが発表する番だ。

◇ 次の文を三つに分けて書き、述語を答えなさい。

★★★

例 桜のつぼみがふくらんだ。

さくらの

つぼみが

ふくらんだ

一 赤い実がなった。

述語

ふくらんだ

二 美しい鳥が鳴いた。

述語

三 寒い冬が来た。

述語

述語

三文節文

「ありの行列」

月 日

全部できましたか?

★ こ

◇次の漢字と読みを書きなさい。

★★★

進

シ	すす
ン	・む

(11画)

進

すすむ

進

歩

一歩前へ

すす

みましよう。

着

キ	きる
ツ	・く
ク	・
ク	・
ク	・
ク	・
ク	・
ク	・
ク	・
ク	・

(12画)

着

きる

着

席

列車は東京駅に

つ

いた。

仕

シ	つか
	・える

(5画)

仕

つかえる

仕

事

王さまに

つか

える。

研

ケン	(
)

(9画)

研

けん

研

修

兄はロボットの

けん

究をしている。

述語 ()

()

四

きれいな水がながれる。

述語 ()

()

三

教室のガラスがわれた。

述語 ()

()

二

兄の自転車がこわれた。

述語 ()

()

一

杉の花粉がとぶ。

述語 ()

()

◇次の文を三つに分けて書き、述語を答えなさい。

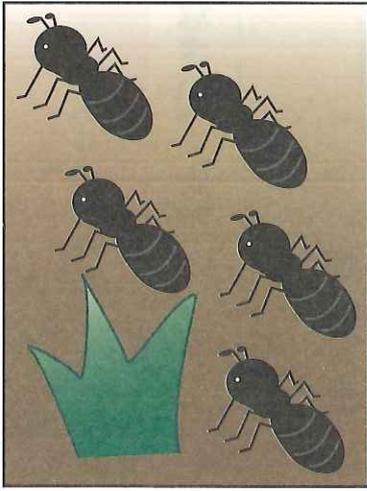
★★★

◇次の文章を読んで後の問いに答えなさい。☆☆☆☆

夏になると、庭のすみなどで、ありの行列をよく見かけます。その行列は、ありの巣から、えさのある所まで、ずっとつづいていきます。ありは、ものがよく見えません。それなのに、なぜ、ありの行列ができるのでしょうか。

アメリカに、ウイルソンという学者がいます。この人は、次のような実験をして、ありの様子をかんさつしました。

はじめに、ありの巣から少しはなれた所に、ひとつまみのさとうをおきました。しばらくすると、一ぴきのありが、そのさとうを見つけました。これは、えさをさがすために、外に出ていたはたらきあります。ありは、やがて、巣に帰っていききました。



一 ありの行列は、どこからどこまで、ずっとつづいて
いますか。

ありの [] から [] のある所まで

二 ウイルソンは、何を知るために、実験をしたので
すか。

ありは [] がよく見えないのに、ありの
[] ができるわけを知るためです。

三 [] の中にふさわしい言葉を書きなさい。

[] をさがすために、 [] に出ている

[] ぴきのはたらきありは、 [] の巣から

少しはなれた所におかれた [] の

[] を見つけ、やがて [] に帰って

きました。